

事務事業名	学校給食センター整備事業				担当	教育委員会 学校給食センター 第一学校給食センター			
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)				
施策名	2	心の教育と健やかな体づくり							
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 真岡市食育推進計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成28 年度～ 令和6 年度)			
法令根拠	学校給食法								
予算科目	1.一般会計	10.教育費	5.保健体育費	3.学校給食施設費					
予算科目									
事業概要	<p>第一学校給食センターは、昭和54年度に真岡市立学校給食共同調理場として開設され、40年以上が経過しており、老朽化や耐震性などの問題に加え、学校給食衛生管理基準を満たしていないなどの課題も出ている。</p> <p>これらを解消し、児童・生徒に安全で安心な給食を提供するために、庁内の建替検討委員会や検討部会を組織し、協議・検討を重ねてきた。</p> <p>平成28年度に真岡市学校給食センター整備基本計画を作成したが、その後整備方法や建設候補地等を見直したため、令和2年度に外部の給食提供に関わる関係者を委員とする整備審議会や、食育・食物アレルギー・防災の有識者による専門部会を開催し、計画の修正を行い、整備基本計画を策定した。</p>								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)		④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移						
3年度実績 新第一学校給食センター設計業務に係る業者選定 (プロポーザルの実施) 新第一学校給食センター基本設計 第二学校給食センターの施設増強の検討  4年度計画 新第一学校給食センター実施設計の完了 第二学校給食センターの施設増強整備調査・設計業務の完了		名称	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)
		ア 給食センター庁内建替検討委員会の開催	回	0	2	0	0	0
		イ 給食センター整備審議会の開催	回	0	0	3	0	0
		ウ 給食センター整備審議会専門部会の開催	回	0	0	2	0	0
		エ 先進地視察の実施	回	0	2	2	2	2
		オ 設計・工事の打合せの実施	回				12	10
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移						
市内小・中学校の児童・生徒		名称	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)
		ア 市内小・中学校数	校	23	23	23	23	23
		イ 児童・生徒数及び教職員数	人	7,405	7,359	7,251	7,185	7,097
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移						
児童・生徒へ更なる安全・安心な給食の提供 毎年、給食時間帯における学校訪問時にアンケート調査実施 (小学校4校、中学校2校程度)		名称	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)
		ア 給食が好きな児童・生徒の割合	%	51.1	61.8	51.4	54.3	55.0
		イ 新学校給食センター基本設計					完成	
		ウ 新学校給食センター実施設計						着手
		エ 新学校給食センター工事						
		オ 新学校給食センター厨房機器導入						
(2) 総事業費の推移		単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	10	2,189	613	8,206	30,184
	事業費計 (A)		千円	10	2,189	613	8,206	30,184

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 現施設の老朽化や耐震性の問題、学校給食衛生管理基準への対応のため、早急な整備が必要となっており、新センター建設は、児童・生徒への更なる安全・安心な給食の提供につながる。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 学校教育関連施設の建設であり、市が行うべきものである。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 現施設の課題を解決するため、早急に整備を行い、児童・生徒に対して更なる安全・安心な給食の提供を行う必要がある。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 令和3年度に実施した基本設計を基に、事業費の削減に努めながら、より良い施設を整備できるよう検討していき、業者と綿密な打ち合わせを実施し、発注者側と受注者側との意見のすり合わせを行うことで、より良い新学校給食センターの整備につなげる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名: ) <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名: ) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由) 整備に対する類似事業はないが、児童・生徒数の減少により、令和24年度を目標に第二学校給食センターを第一学校給食センターに統合する計画としている。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 令和3年度の基本設計業務委託の実施にあたり、事業費の削減を念頭に委託仕様書の作成を行い、コスト削減に努めた。 必要最低限の費用で実施していく。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性 社会的要因による資材価格の高騰等にもよるが、できる限り工事費や機材導入費の削減を検討していく。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項 建設資材の価格動向に留意して事業を行うこと。																								